



あさがお通信は、民生委員が皆様のお宅を 訪問する端緒 となることを願っています



一週間前に歩いた袖ヶ浦公園



用がなければ
ば会えない



仲間との会話は気持ちが安らぐ

今年の6月末から7月初めにかけて親しい人が、立て続けに5人亡くなりました。一週間前まで元気だった人もあり、命のかなさを感じます。市民会館行事で袖ヶ浦公園を歩いた人、広報誌を届けに行って、時の過ぎるのも忘れ、『限られた命、今を楽しもう』と、話した人。懐かしく思い出します。

今回は葬儀の引き出物にお米が重なり、ご飯を炊いておにぎりを、みんなでテーブルを囲み食べました。時間に関係なくゆっくりと会話しながら過ごすと、何となく気持ちが落ち着き、おにぎりがおいしく感じました。

今の私たちは、用事がなければ人と会うことがありません。コーヒーや酒を飲みに、近所の人を誘うこともありません。一緒にしたいなと思っても、誘えない雰囲気があります。

気軽な楽しみは、お喋りもあります。話を聞いてもらえれば、話すだけで“もやもやした気持ち”が消えてなくなります。

一步踏み出して、ゆっくりとした時間を、気の合う仲間と楽しむことを考えませんか。地区社協の「サロンいきすこ」やシニアクラブではゆっくりした時間を準備しています。

(広報部会 眞崎 重利)